

情報文化コース

人文情報学演習III-9

「人間行動から情報を考える」

担当者 高橋 真

ゼミのキーワード

- 行動による人間理解
- 統計処理

コンピューターと人間

情報機器の開発

情報機器に関する
法整備

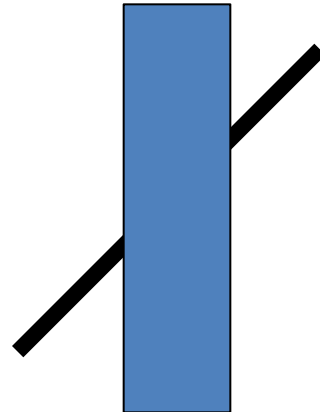
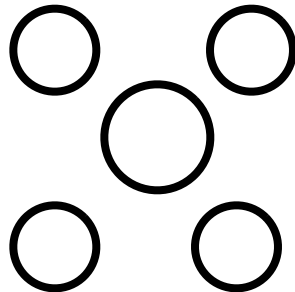
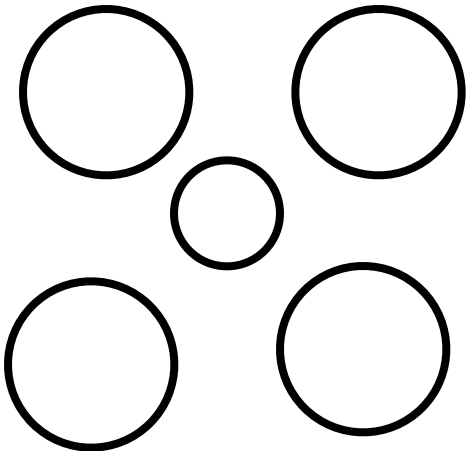
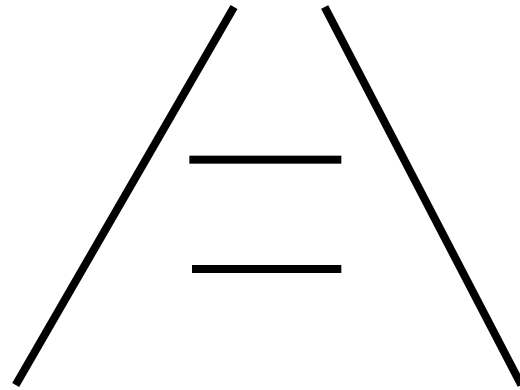
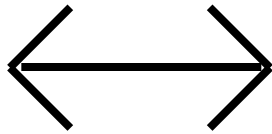
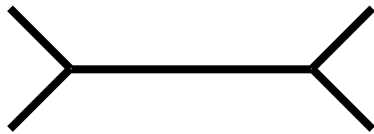
情報機器に関わる
エラー

情報機器の良否は、人間が重要

人間

人間とコンピュータの違い

- 人間は、世界をそのまま認識するのではない



人間理解の方法

- 特定の個人の視点を通して、人間を理解する

→人文学的方法

- 人間の総体として現れる社会を通して人間を理解する

→社会学的方法

- 人間という情報処理機械に関わる一般法則を知る

→心理学（認知科学）的方法

心理学的に人間を理解する

- ~~• 個人の心理を法則に基づいて理解（精神分析学的手法）~~
- 多くの人に共通する法則性を見つけ出す（実験心理学的手法）

人間を実証的に理解する方法

- 行動観察法

実際の人間の行動を観察し、データを集める

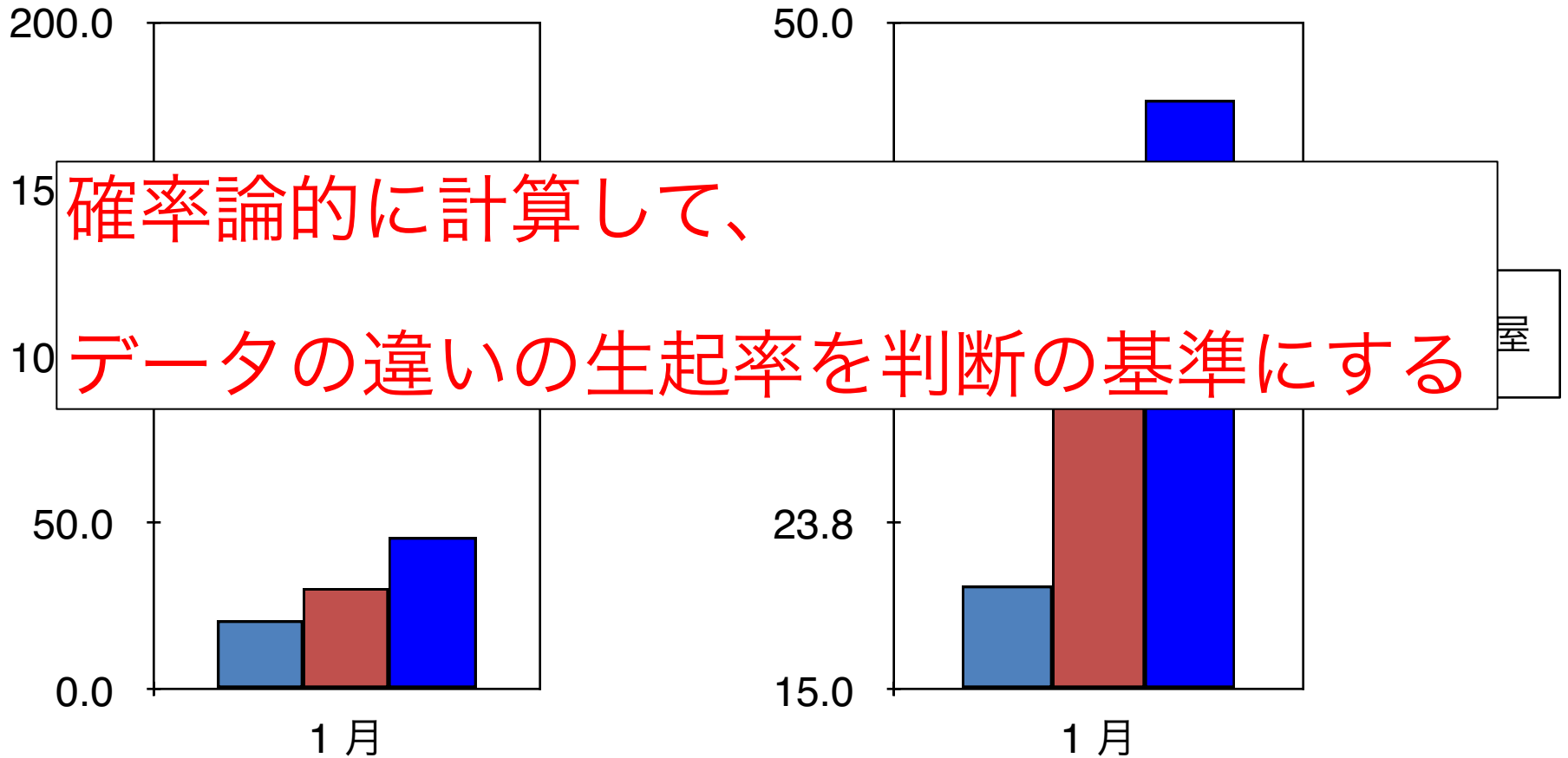
- 実験法

実験的にデータを集め、解釈する

- 質問紙法

アンケートなどの質問紙から、データを収集し、解釈する

データの分析と統計



ゼミの予定

3回生

- 実験法や質問紙法などの、研究法を学ぶ
- 集めたデータを解釈するための統計法を学ぶ
- 卒業研究のテーマを決める

4回生

- 卒業研究のデータ収集と経過報告

適正

- 実践力のある人
 - できないとあきらめるのではなく、やってみる
勇気と力
- 数学が苦手ではないこと
- 英語などの文献に対して拒否感を持たない人

ちなみに

- ・ 就職にメリットは特になし
- ・ 留年もよくある
- ・ 卒論は自分で考えないと何もできません

募集方法

- 面談前に卒論としてどんなことをどんな方法で研究したいかのレポートを提出
 - まず話を聞きたいという場合は後日でも可
- 面談した上で、レポートを再提出
 - 未提出の場合は、希望の意思なしとみなす
- 提出期限
 - 2014/12/10
- 面談日程は、メールで連絡してください
 - 宛先: makototakahashi@res.otani.ac.jp
 - 件名:ゼミ希望